

## 林野庁長官感謝状伝達式を開催

林野庁では、毎年度「国民の森林」である国有林において、森林づくりや森林環境保護、国産材利用の推進など「国民の森林づくり」の推進に貢献頂いている方々や団体等に対して、林野庁長官より「国民の森林づくり推進功労者に対する感謝状」の贈呈を行っています。

今年度は、当署管内で活動している「飽田地区青少年健全育成連絡協議会 飽田の森を育てる会」が九州森林管理局管内で唯一贈呈されることとなり、5月20日に当署会議室において、感謝状の伝達式を開催しました。

同協議会は、当署管内南阿蘇村の国有林において平成12年に分収造林地「飽田の森」を設定し、地域の児童・生徒や地域住民により森林整備を実施するとともに、森林環境教育や憩いの場として活用し、平成26年からは間伐材の有効利用のため、生徒の名札づくり等に取り組むなど、国民参加の森林づくりの模範となる活動を展開されていることが評価されました。

伝達式は、濱口絵里奈森林整備官の司会進行により、まず川畑充郎署長から「当署としても引き続き貴会の活動を全面的にバックアップしますので、今後とも国民参加の森林づくりの模範となるように積極的な活動をお願いします」とお祝いの言葉を伝え、同協議会の前出浩一会長に感謝状を贈呈しました。前出会長からは「飽田の森を次の世代に繋いでいき、他の団体や学校の模範となるように、引き続き活動していきます」とのお礼の言葉が述べられ、その後参加者全員で記念写真撮影を行い伝達式は終了しました。

なお、伝達式の模様は地元新聞や経済誌にも取り上げられ県民に紹介されましたが、今回の贈呈を契機として同協議会の活動がますます促進されることが期待されます。



(川畑署長から感謝状を伝達)



(参加者で記念写真撮影)